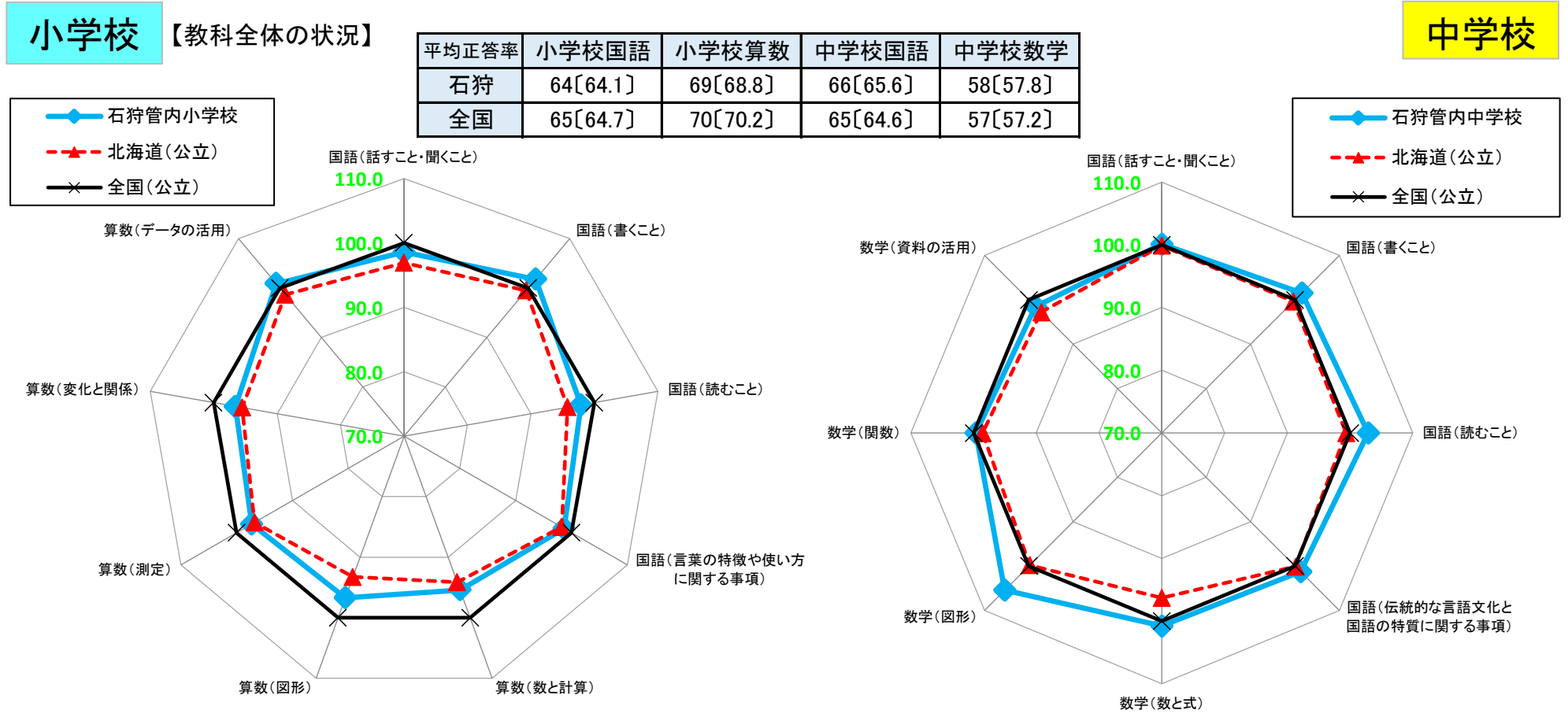
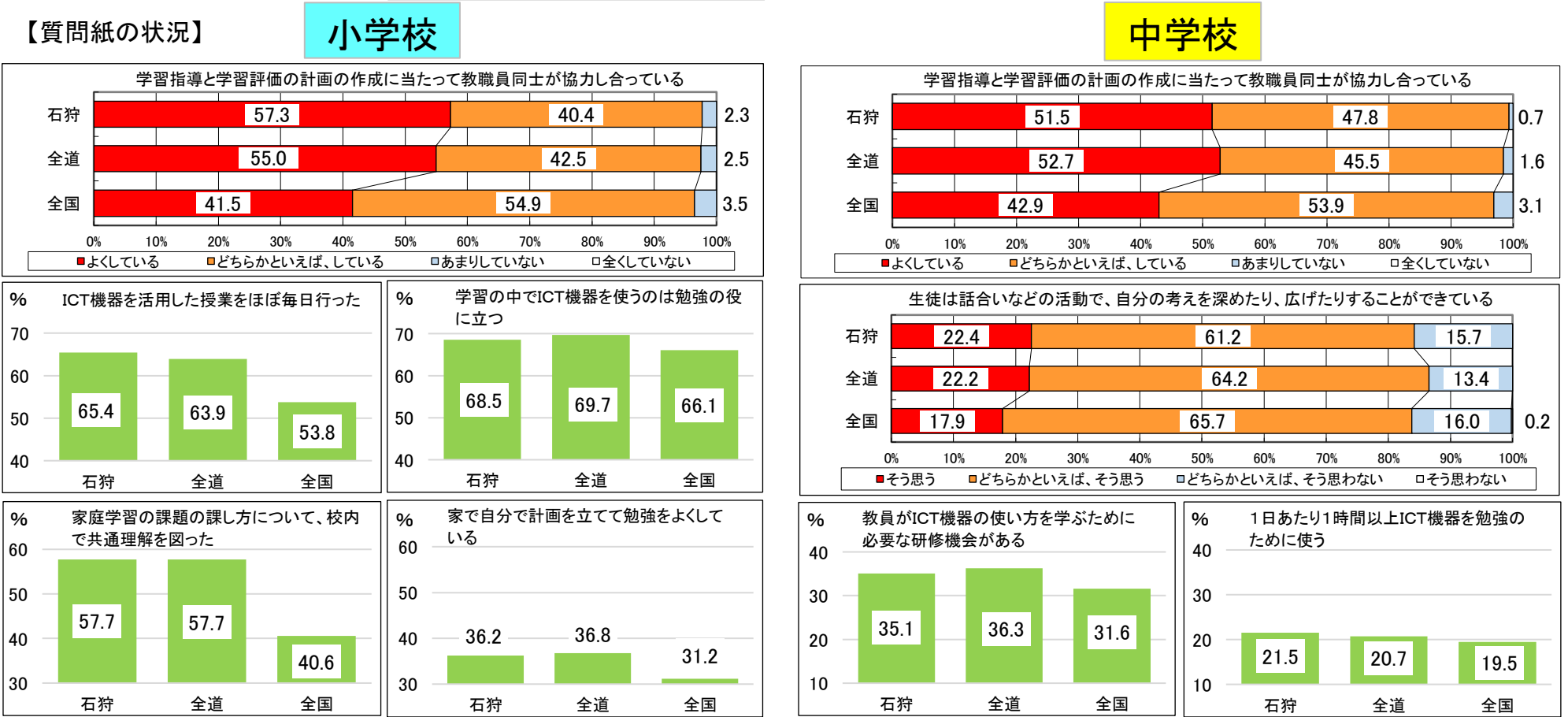
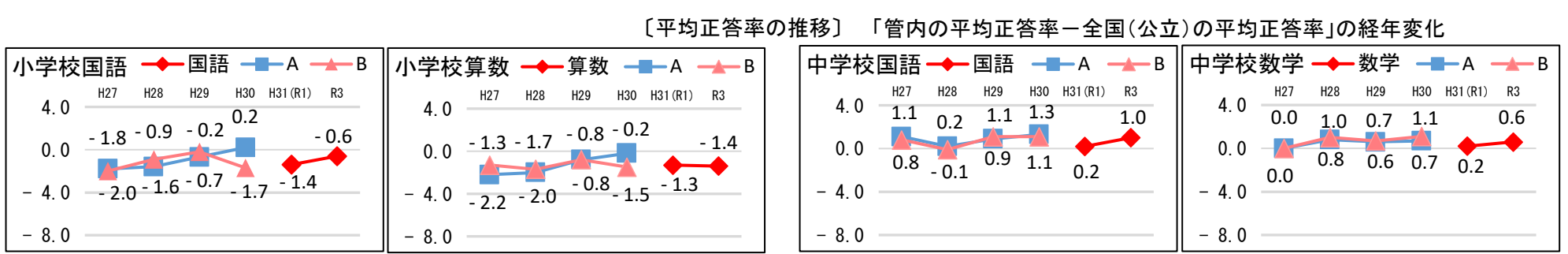


■石狩の状況及び学力向上策（小学校数：260校、児童数：17285人）（中学校数：134校、生徒数：15317人）



教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び管内の状況をレーダーチャートで示したもの（管内の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出）



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

管内の多くの小学校において、教職員同士が協力し合って学習指導と学習評価の計画を作成したことにより、授業改善につながり、国語の「書くこと」の領域、算数の「データの活用」の領域で、全国の平均正答率を上回ったと考えられる。

管内の多くの小学校において、ICT機器を活用した授業をほぼ毎日行ったことにより、学習の中でICT機器を使うのは勉強の役に立つと思うと回答した児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

管内の多くの小学校において、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図ったことにより、家で自分で計画を立てて勉強している児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

中学校

管内の多くの中学校において、教職員同士が協力し合って学習指導と学習評価の計画を作成したことにより、授業改善につながり、話し合いなどの活動で、多くの生徒が、自分の考えを深めたり広げたりすることができているとともに、国語の全ての領域、数学の「数と式」及び「図形」の領域で、全国の平均正答率を上回ったと考えられる。

管内において、教員がICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会を設定し、各学校でICT機器を活用した取組を充実させたことにより、1日あたり1時間以上ICT機器を勉強のために使う生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。

【石狩の学力向上策】 については、次ページの学力向上の取組を参照ください。

石狩管内における学力向上の取組

1. 管内課題と重点的な改善策

- (1)「主体的・対話的で深い学び」の実現
- 各学校において育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点など、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりを進めるなど、日常の授業改善の一層の促進を図る必要がある。
- 日常の授業における「目標（めあて・ねらい）」と「振り返り」の位置付け及び質の向上に向けた取組を推進する。
- 全教育活動において、児童生徒が話し合う活動を通して、考えを深めたり、広げたりすることができる取組を推進する。
- (2)検証改善サイクルの実質化
- 学校全体で各種調査の分析結果を具体的な授業改善に結び付けるとともに、カリキュラム・マネジメントの実施により、学力向上に向けた各取組を結び付けるなど、検証改善サイクルの実質化を図る必要がある。
- 各種調査結果等に基づき、PDCAサイクルの確立による学力向上に効果的に結び付く取組を推進する。
- 各種調査や児童生徒による授業評価等の結果を日常の授業改善に効果的に活用する取組を推進する。
- (3)家庭や地域との連携及び小中連携の加速化
- 家庭や地域、中学校区の小・中学校が、目指す子ども像を共有するとともに、学習・生活規律の徹底や家庭学習習慣の確立に向けた取組の見直し・改善など、家庭や地域との連携や、小中連携の加速化を図る必要がある。
- 中学校区における学習・生活規律の徹底に向けた取組の充実及び家庭学習習慣の確立に向けた家庭や中学校区での協働した取組を推進する。
- 学校経営方針やグランドデザイン等の公表による家庭や地域、中学校区での目標の共有及び小・中学校の教育課程に関する共通した取組を推進する。

2. 具体的な取組

月	(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現	(2)検証改善サイクルの実質化	(3)家庭や地域との連携及び小中連携の加速化
10	市町村教育委員会との学力向上に係る協議 第2回組織力強化会議 (対象：主幹教諭・学力向上担当教員) 組織力強化会議後の各校の課題に応じたフォローアップ (対象：主幹教諭・学力向上担当教員)	市町村教育委員会との学力向上に係る協議 第2回組織力強化会議 (対象：主幹教諭・学力向上担当者) 組織力強化会議後の各校の課題に応じたフォローアップ (対象：主幹教諭・学力向上担当教員)	市町村教育委員会との学力向上に係る協議 小中一貫教育全国サミット（北広島市）の参加の促進
11	各学校の取組状況の確認(取組の評価) ②	各学校の取組状況の確認(取組の評価) ②	各学校の取組状況の確認(取組の評価) ② 小中一貫教育全国サミット（北広島市）の成果の普及
12	I C T活用教育研修会 (対象：I C T活用担当教員) 管内教育推進の重点に係る取組の評価 各種事業における取組の評価	管内教育推進の重点に係る取組の評価 各種事業における取組の評価	家庭学習の取組事例の紹介 管内教育推進の重点に係る取組の評価 各種事業における取組の評価
1	市町村別教育推進会議(次年度の方針の説明)	市町村別教育推進会議(次年度の方針の説明)	市町村別教育推進会議(次年度の方針の説明)
2			
3			

3. 取組の評価

(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現	(2) 検証改善サイクルの実質化	(3) 家庭・地域との連携及び小中連携の加速化
①「日常の授業における『目標』と『振り返り』の位置付けに向けた取組の状況」 ・現 状 小…82.8%、中…74.4% ・目 標 小…100%、中…100%	①「PDCAサイクルの確立により学力向上において成果が見られた取組」 ・現 状 小…67.2%、中…69.2% ・目 標 小…100%、中…100%	①「テレビゲームの時間の減少に向けた取組及び学校の授業以外に、勉強する時間の確保に向けた取組の状況」 ・現 状 小…53.1%、中…48.7% ・目 標 小…80.0%、中…80.0%
②「全ての児童生徒が、話し合う活動を通して、考えを広げたり、深めたりする取組の状況」 ・現 状 小…37.5%、中…43.6% ・目 標 小…100%、中…100%	②「各種調査や授業評価等の結果を日常の授業改善に効果的に活用する取組」 ・現 状 小…76.6%、中…71.8% ・目 標 小…100%、中…100%	②「近隣等の小・中学校と、教科の教育課程の接続など、教育課程に関する共通した取組」 ・現 状 小…48.4%、中…53.8% ・目 標 小…70.0%、中…78.0%

※取組の評価は12月末に実施

4. 改善点

(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現	(2)検証改善サイクルの実質化	(3)家庭・地域との連携及び小中連携の加速化
○ 教員一人一人の授業改善につなげる指導主事の指導助言及び研修の質の向上 ・市町村教育委員会との学力向上に係る協議の実施及び協議内容を踏まえた指導助言や研修の実施 ・校種別で実施するI C T活用教育研修会における授業改善に向けた好事例の提示	○ ミドルリーダーに直接働きかける研修後のフォローアップ等の実施 ・校内研究担当者研修会後の各校の課題に応じたフォローアップの実施 ・第2回組織力強化会議後の各校の課題に応じたフォローアップの実施	○ 各学校の家庭学習の好事例について広く周知 ・学校教育指導等で把握した好事例を、通信等で周知 ○ 小中連携した教育活動の推進 ・小中一貫教育全国サミットの成果の普及